

第1回 シンポジウム

「スポーツ・ウエルネス・まちづくりのイノベーション」

心身ともに健幸な生活を送るためには、適度な運動や人とのコミュニケーションが大切です。スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアムは、楽しく運動やコミュニケーションのとれる都市をつくるべく、調査・研究、実践活動等のさまざまな取り組みにチャレンジしています。

政府は、本年度の「経済財政運営と改革の基本方針 2024」で、スポーツの力を最大化することで我が国と国民の活力を引き出し、活気あふれる日本の未来を切り拓くため、スタジアム・アリーナの整備・活用やまちづくりとして総合的・複合的に施設を整備・活用する「スポーツコンプレックス」の推進を掲げました。

政府の推進する「スポーツコンプレックス」の考え方は、質の高いスポーツ・アリーナを単独で整備するだけでなく、それらを核とした多様な都市機能の有機的な連携によって健幸な都市の創生をめざすものであり、総合的な政策への転換を示す政策イノベーションともいえます。

シンポジウムでは、公共投資に加え、民間投資を活用したスポーツコンプレックスの最先端の国内外の事例をとりあげ、今後の健幸都市の創生にむけ、個別具体的な課題の抽出とその解決策を議論し、全国の健幸まちづくりをリードする人材の育成の機会とします。

今回のシンポジウムでの知見は、来春、東京キャンパスで開設される社会人大学院 スポーツウエルネス学学位プログラム スポーツウエルネスマネジメント分野（協働大学院方式）における人材育成にも活かしていくものであります。

2024年 11月12日(火) 14:00 - 17:00

14:00 主催者挨拶 原野 健一 スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム 副会長
株式会社アシックス 執行役員 スポーツ工学研究所長

第1部 パネルディスカッション

14:05 パネルディスカッション
「スタジアム・アリーナと持続的なウエルネスまちづくり
－スポーツコンプレックスに必要なこと－」

コーディネーター 河野 一郎 スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム 副会長
日本スポーツ政策推進機構 理事長

高橋 義雄 早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授
筑波大学 スマートウエルネスシティ政策開発研究センター アドバイザー

パネリスト 「政策としてのスポーツコンプレックスの重要性」
演者調整中

「北海道ボールパークFビレッジとまちづくり」
前沢 賢 北海道日本ハムファイターズ 取締役事業統轄本部長

「スポーツコンプレックスとまちづくり」
演者調整中

「指定発言：シンガポールのスポーツハブとまちづくり」
田邊 解 筑波大学大学院 人間総合科学学術院
スポーツウエルネス学学位プログラム 准教授

15:55 休憩

第2部 講演

16:10 講演1
「2035年に向けた健康課題と健康ビジネスの可能性」
増本 岳 スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム 会長
株式会社カーブスホールディングス 代表取締役社長

16:35 講演2
「ウエルネスの観点から見たこれからの健幸まちづくりの方向性
－多様性、寛容性、及び自律性の向上が導かれるポイント－」
久野 譜也 筑波大学大学院 人間総合科学学術院
スポーツウエルネス学学位プログラム 教授

お申込み



会場

筑波大学
東京キャンパス
1F 134講義室
・
オンライン
(ZOOM)

※ハイブリッド開催

お問い合わせ

info@swurc.com